

4月例会報告

“Welcome 次世代 Jaycee”



皆さんこんにちは、いかがお過ごしでしょうか。去る、4月19日に開催されました、4月例会「新入会員歓迎会」には、お忙しいところ多数のご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。当日は、理事会で承認いただいた9名の新入会員と、オブザーバー3名の方からも出席していただき、大変ありがとうございました。4月例会を振り返りますと、盛大な拍手の中新入会員が一人ずつ入場し、佐々木理事長と固い握手を交わしながら、壇上に並び最後に佐藤正廣拡大委員長が、入場の際には、一際大きな拍手の中入場されておりました。みなさんも、新入会員のフレッシュな姿をご覧になり入会当初の自分を、思い出したのではないのでしょうか。菅原直前理事長の歓迎の言葉と乾杯の挨拶の後に、歓談の時間を設けまして皆さんと、新入会員との交流を深めていただきました。歓談の後の、各委員会PRの時間では、趣向



を凝らした委員会PRで今後の例会活動など、新入会員の皆さんには十分に熱意が伝わったのではないのでしょうか？

そして、最後に新入会員の皆さんより自己紹介をして頂き、佐々木理事長から歓迎の言葉をいただきまして4月例会を無事に終えることができました。また、二次会にも多数のご参加をいただき大変ありがとうございました。

佐藤正廣委員長の下、拡大委員会は「出来る、出来る、必ず出来る、やる気があれば、必ず出来る」を合言葉に拡大活動しております。今後もまだまだ新入会員を募集しております。

最後に、拡大活動にご協力いただいた皆様に拡大委員会一同、心より感謝申し上げますと共に、新しいメンバーも宜しく申し上げます。
拡大副委員長 橋本 晃 幸



新公益法人制度改革セミナー

～理事者編～



公益法人化準備会議
総括幹事
渡辺 孝之

「民間非営利部門は、行政や民間営利部門では満たすことのできない社会のニーズに対応する多様なサービスを柔軟に提供しており、我が国社会経済システムの中で、その果たすべき役割はますます重要となっています。」

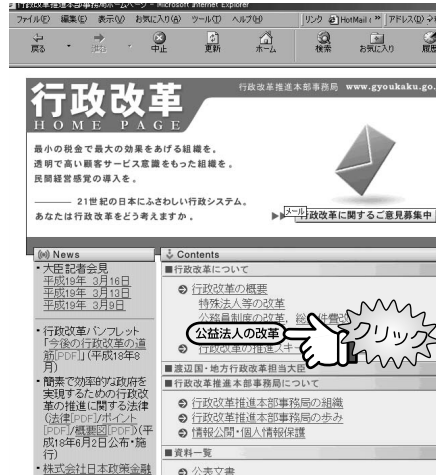
～公益法人制度の抜本的改革について行政改革推進本部事務局ホームページより一部抜粋～
去る4月7日(土)山形ブロック協議会組織連携推進委員会主催で、講師に(社)

酒田青年会議所 OG 石垣睦美先輩、山形ブロック協議会財政局長 横山敬生君をお迎えして「新公益法人制度改革セミナー ～理事者編～」が開催されました。委員会には当 LOM から相馬大君が出席しております。

セミナーでは、平成18年5月に成立し、同年6月に交付された「公益法人制度改革」に基づき、公益社団法人格取得の必要性、取得の意義、新公益会計基準にまつわる内容を講演していただきました。講演の中で、以前は JC しか無い時代から、現在は NPO 団体の台頭により、JC もある時代に収束されてきた、これからは

公益法人しか無い時代での盛り返しが必要である。「誰の、何の為の組織なのか?」「公益性が誰の目にも明らかか?」「組織運営が適切かつクリアか?」「公益法人においては予算が非常に重要視される!」...

社会の負託と信頼に応え、明るい豊かな社会の実現を目指すために、一つの手段ととらえこれまでの青年会議所活動を見直し、



真の青年会議所を目指さなければならない、メンバー一人一人の意識改革がないと達成できない!!! などなど、セミナーを受け気の引き締まる思いでした。

今後、公益法人化準備会議から公益法人化に向けての情報を発信していきたいと考えております。

夕陽ライン シンポジウム

プレイベント開催

“マラソン大会”



6月に開催予定である「夕陽ラインシンポジウム」のプレイベント「マラソン大会」が去る4月15日(日)酒田にて開催されました。当日の天候はあいにく小雨でしたが、各庄内 LOM メンバーは「酒田港 IC～道の駅家湯」までの区間をタスキを引継ぎながら、力強い走りで見ごと完走を果たしました。

ちなみに鶴岡 JC の担当区間は、酒田港 IC～道の駅ふらっと(遊佐町)までの13キロを2～3kmづつに分けてペアでのリレー。「まあ、たかが2～3kmだから大丈夫ですよ!心配しないで!」などと慰めあったのはいいものの、完走を果たした直後のメン

バーは「長いよー!」「死ぬかと思った!」「ゼエ、ハア!」。日頃の運動不足を各々が痛感した日となったようです。驚いたのは佐々木理事長。スタートから2.2kmのところ、通して次の区間まで走りきり5.2kmを苦もなく完走してありました。ス・ゴ・イ人だと思いました。

私たちのこの活動が、すこしでも日本海沿岸東北自動車道の早期完成の一助となりえたならば幸いです。

酒田、庄内中央、各 LOM の皆様ありがとうございました。まずは夕陽ラインシンポジウムの成功に向かってともに頑張ってくださいませう!

広報委員会 小池 信治



5 月例会案内

わんぱく相撲 鶴岡田川地区大会

開催日 / 5月20日(日) 9:30 受付 10:00 開会



青少年委員会 委員長
青 柳 康一郎

5月例会は、昨年まで特別事業として行っていた「わんぱく相撲 鶴岡・田川地区大会」です。この大会は今年で23回目を迎え両国国技館で行われる「わんぱく相撲全国大会」の地区予選でもあります。両国を目指す子供達の熱き戦いを応援して頂き、国技である相撲の知識を深め、より身近なスポーツとして感じて頂ければと思います。また、昨年度までは3年生～6年生までの大会でしたが、新たに1・2年生大会を開催することにしました。この1・2年生大会からは全国大会に出場することは出来ませんが、未来のわんぱく力士の育成と国技である「相撲」の普及を目的としています。今年度は例会になったことと、一人でも多くのメンバーの皆さんに子供達と触れ合い、一生懸命にがんばる姿や応援する姿、白熱した戦いを見て頂きたいと思ひますし、運営上、皆さんからのご協力が必要不可欠となりますので是非とも参加協力をお願いいたします。当日は昼食にとってもおいしいちゃんこも準備しておりますのでお楽しみに！

6月 第一例会案内

6月4日(月)19:00～21:00

模 擬

理事長選挙公開討論会



地域創造委員会 委員長
辻 村 利 則

6月第1例会は、模擬理事長選挙公開討論会を行います。この事業は県議会議員選挙鶴岡選挙区での公開討論会の実現を目指すべく計画されましたが、総合的な判断から事業内容を変更し、このような形で開催することになりました。具体的な内容は公開討論会とはどんなものかメンバーが無理なく理解できるよう演出を交えながら、身近な理事長選挙を題材に実際に公開討論会を行います。理事長への立候補表明者には今年度の卒業予定者の中から個性的で魅力溢れるメンバーに協力を要請し、議論も面白くて中身のある例会にしたいと思っております。会場は藤島町商工会ですので、お間違えのないよう。この後続々と発信されるお知らせに注目して下さい。そして大勢のメンバーの参加をお願い致します。最後にこの討論会は模擬ですのでそこはご注意ください！！



クローズアップ 新人

～入会いきいき女性メンバー紹介～



2006年入会
松 田 博 美

2006年の2月、18年ほど暮らした東京に別れを告げ、鶴岡に戻ってきた私はとにかく知り合いがいませんでした。

はじめたばかりのゴルフも仲間がいなくてつまらないし…。飲み仲間もあまりいないし…。と思っていたそんな時、姉からJC入会の勧めがありました。「これは知り合いを増やす格好のチャンスかも!!」と思ったのが入会のきっかけです。

入会当初はJCってお酒を飲んでわいわい騒いでいる人達の団体。という印象でしたが、ある日理事会に初めてオブザーブ出席したところ、普段飲んでいる雰囲気とは全然違って、理事の方達が真剣に議論しているではありませんか!? 「JCの本質ってこれなんだな。」とその時改めて認識いたしました。

今年は事務局の会務セクレタリーとして、京都会議に参加したり、アカデミー塾に出向して、他市の仲間と交流したり、JCでないと経験できない事を経験させて頂いています。まだまだ分らない事の連続の日々ですが、まずはできる限り出席(もちろん飲み会含めて)する事を目標にしています。これから多々失言(?)等ご迷惑をおかけするかと思いますが、広い心でご指導頂けますようお願いいたします。

赤川河川清掃事業

5月27日(日)受付 8:30～ 小雨決行

荒天6月2日(土)順延

赤川花火運営会議 総括幹事 佐藤正晴

来る5月27日(日)に赤川河川敷にて、赤川河川クリーン大作戦を行います。今回で第十七回目を迎える赤川花火大会の会場を少しでもきれいにすると同時に、(社)鶴岡青年会議所として環境を考えた事業を行なっている事を市民の皆様にご存知いただく良い機会だと思います。より多くのLOMメンバーやその家族の力を合わせて赤川河川敷のクリーン作戦を実施し、きれいな赤川をアピールすることにより、赤川花火大会当日には気持ちよく来場していただけるようにしたいと思います。是非多くのメンバーの参加をお願い致します。



▲ 昨年の河川事業の様子

● 理事会より5月の予定 ●

5月10日(木) 第5回理事会

5月20日(日) 5月例会 わんぱく相撲 鶴岡・田川地区大会

5月26日(土) 山形ブロック協議会 会員会議所会議

(米沢市)

5月31日(木) 常任理事会

釣道

～鶴岡の釣り文化～

小学校低学年の頃、休日になると父に連れられよく釣りにいった思い出があります。大人たちはこの日を待ち望んでいたかのように前日から支度をし、朝早くから磯場に繰り出して行ったのです。祖父や叔父の自慢話を何度も何度も聞かされていました。不思議に嫌な気はせず、いつもその自慢話に吸い込まれて行く自分がいました。

釣った時のやり取りや、魚の大きさなど日々大げさになっていっても、自然なのです。

こんな環境にあって、私が釣りにはまらない訳がないのです。23歳で結婚し、当時東京に住んでいた私が披露宴のために帰ってきた折、その翌日に、妻と二人で由良に出掛け釣りをしていたこともあります。これも鶴岡における幼少の頃のよき思い出が磯場に足を運ばせたのであろうと思います。

東京に10年間在住し、故郷を想うとき、いつも磯釣りのことが頭から離れなかったものです。帰ったら釣り三昧だなと思うと、遠足前の子供のように心が躍るものであり、鶴岡人として生まれ、脈々と受け継がれてきた伝統文化を、私も身に沁みて継承していたんだと感じています。

それから数年後、JCに入会し私の釣り人生を大きく変える出会いがやってきました。

ある酒席でその方となぜか釣りの話になり、釣りは好きだが、お互いに黒鯛釣りはまだ始めたばかりという事で、一緒に磯に出掛けるぞと言われ、小心者の私は自分の技量を省みず、行きます、と即答し釣行することになったのでありました。

この方こそ造園業を営まれている「先輩」であります。釣行前日に釣具屋で翌日の準備をしていると、なんとそこに「先輩」が来ているではありませんか。

隣には強面のもう一人の方とともに...。紹介された強面の方は「先輩」であり、後に男鹿にもよく出掛けるようになるのですが、当時は想像すらつかない出会いでありました。

怖そうな外見からは想像もできないくらいやさしい言葉を掛けていただいたもののその方も同行されるとのことで、我流の釣りしかしたことのない私は、明日の釣行はどうなるのかと思うと、妙に緊張してくるのでありました。

釣行当日、釣り場に着くと、そこには想像を超えた大きな試練が待っておりました。釣り場に行くために崖をへつらなければならぬのです。そんな釣りをしたこともない私は下に落ちれば怪我では済まないというその崖を、強張りながら何とか通過し、釣りを行いましたが、帰りもあそこを通るのかと思うと、集中できませんでした。

結果、残念ながら釣果には恵まれなかった訳ですが、後に多大な影響を与えてくださったお二人との初釣行になったわけです。その後お二人の先輩から『庄内における釣道』を叩き込まれ現在に至っているのです。肉体と精神の鍛錬を怠らず、釣りを通して物事の真理を教えていただいていると思っております。庄内の釣りのお陰でお二人の先輩はじめ、たくさんの方との出会いがあり、本当にありがたいことです。この地に生んでいたいただいた父母に感謝感謝。

HATADA

鶴岡の祭り・イベント

- 6月1日(金) 湯殿山開山祭 (湯殿山神社)
- 6月1日(金) 金峯神社商い祭り (金峯山中の宮)
- 6月5日(火) 大山犬まつり (大山地区)
- 6月上旬 特産品まつり (米子漁港)
- 6月9・10日(土・日) あつみ温泉ばら園まつり (あつみ温泉ばら園)
- 6月10日(日) 道の駅フェスティバル (道の駅あつみ「しゃりん」)
- 6月15日(金)～ 湯田川温泉ほたるまつり (湯田川温泉周辺)
- 6月17日(日) うまいカ・干イカ・イカまつり (鼠ヶ関弁天島イベント広場)
- 6月中旬 月山筍汁まつり (湯殿山ホテル)
- 6月下旬 月山筍まつり (月山あさひ博物村)
- 6月下旬 櫛引さくらんぼまつり (産直あぐり)
- 6月23・24日(土・日) 第6回全国藩校サミット in 鶴岡
～沈潜の風庄内人 (鶴岡市文化会館)

おめでとう！ヨナー

齋藤 亮一・久美子 2007年2月17日

二人仲良くいつまでも最良のパートナーとして歩いていきたいと思ひます。

堀 愛彦・真紀 2007年2月14日

3年半の交際を経て2/14バレンタインデーに入籍いたしました。二人であたたかい家庭を築いていきたいと思ひます。

庄内映画村情報

雪が解け春となり4月21日に映画「おくりびと」、4月28日に映画「山桜」、5月17日(予定)に映画「ICHI」と、次々と庄内映画村支援作品がクランクインとなり、地元庄内の皆様の多大なるお力添えの下、快調に撮影を進めております。それに伴い松ヶ岡・石倉の両オープンセットが改装を経て内容を一新。庄内映画村資料館もジャンゴの展示物を加えてバージョンアップ予定。今後もより皆様の身近に映画の世界を感じていただけるようになっていきます。ご期待下さい。

エキストラ・ボランティア随時募集中。

◆◆ 会員募集要項 ◆◆

募集対象者／鶴岡市、三川町に居住、または勤務している20歳から40歳の青年会議所運動の精神に賛同し、「明るい豊かな社会作り」を志す青年とします。

応募条件／(社)鶴岡青年会議所正会員2名の推薦を必要とします。

入会時期／2007年4月より

※詳しくは、事務局(0235-24-0377)が正会員まで。詳しい募集要項や説明会の日程は別途ご連絡致します。

編集後記

早いもので今月6日は立夏を迎えます。ちょうどゴールデンウィークごろは気持ちのよい風が吹き、晴天が続くので外にできることが楽しみな時期でもあります。

新緑の息吹を感じながら、私たちも新しい仲間と共感しながら、皆様のお役に立てるよう頑張りたい、と気持ちを新たにしております。(nise)

発行：2007年度 社団法人鶴岡青年会議所
〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町8-5
TEL 0235-24-0377 FAX 0235-22-5090
発行責任者：佐々木 一 広
制作責任者：広報委員会委員長 小池 信 治
発行日：平成19年5月2日
ホームページ <http://www.tsuruoka-jc.info>